

## 第6学年図画工作科学習指導案

日 時 平成26年11月6日(木)

場 所 奥州市立江刺愛宕小学校 図工室

児 童 6年B組 男13名女13名計26名

指導者 及川 陽子

### 1 題材名 「墨のうた」 ー絵ー

### 2 題材について

#### (1) 本題材について

本題材は、学習指導要領の第5学年及び第6学年の目標(2)材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。」を主なねらいとし、指導内容A表現の(2)のイ「形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、表し方を構想して表すこと。」を主な内容として設定した題材である。

題材「墨のうた」は、墨を使って、気のおもむくままに表す快さを味わいながら、様々な用具を使って表し方を試してみる。そして、できた模様の組み合わせや墨の濃淡などによってできる作品の美しさや面白さを楽しむものである。

この題材を通して、墨による表現方法を自分で考えたり友達のよさを見つけたりし、それを生かしながら自分のイメージを広めたり、友達との関わりを通して作品のよさや面白さに気付ける子どもを育てたい。

#### (2) 児童の実態について

子どもたちは、図画工作が好きで意欲的に活動する児童が多く、自分なりのイメージをもって活動に取り組んでいる。しかし、題材によっては、なかなか作品のイメージがもてなかったり、うまく表現できなかったりと、苦手意識をもっている子もいる。

今年度は、「感じたままに花」の学習において、見たり想像したりした花を描画材料の扱い方を工夫して表現する活動に取り組んだ。水彩絵の具のにじみ、クレパスを使ったぼかしなどの技法を体験し、自分のイメージに合わせて表現し、楽しみながら絵に表すことができた。

また、『「窓」の向こうは・・・』の学習でも、自分の想像した世界が効果的に表れるように、描画材料の扱いや表現方法を工夫して描いた。自分の表したい世界のイメージに合わせて、これまで体験した技法を選択させた。しかし、効果的に表現されているかという点必ずしもそうでない場合も見られた。自分のイメージをもっと広げさせるとともに、表現方法の効果について、考えさせる場を設定していきたい。

本題材のように、墨や筆を使って絵に表すという活動は今回が初めてである。子どもたちは、興味をもっていろいろな表現方法を試しながら学習を進めていけると考える。そこで、本題材では、気のおもむくままに表現することで生まれる模様や軌跡を大切に、組み合わせによる美しさや面白さに気付かせていきたい。

#### (3) 指導にあたって

はじめに、普段毛筆で使っている墨でも様々な模様が表現できることを知らせ、墨を使った技法を体験させる。この段階においては墨による表現の面白さや不思議さ、楽しさを十分に味わわせるために、体験できる時間を十分に確保することで、今回の材料となる墨とたくさん触れ合うことができるようにしたい。その中でいろいろな方法を体験しながら、それらを組み合わせる様々な模様を作り出したり自分なりの表現の仕方を見付けたりしている子どもを見付け、その面白さやよさを全体に広げていきたい。

また、和紙や墨、筆や水の適切な扱い方などについても十分に体験しながら覚えさせていく。材料や道具に十分にかかわらせることで、そこから発想や構想を広げ、自分の思いに合った自己決定につながるようにする。

表現の段階では、体験した墨の表現方法を使って様々な模様を描く。その際、自分では思いつかないような表現方法を知ったり自分の表現に自信をもてるようになってきたりするために、友達作品を見たり、グループごとに話し合ったりできる場を設定して、表現に取り組ませる。そして、材料を工夫して使っている子どもを積極的にほめ、全体に広げることで、工夫して表現していこうとする子どもを育てたい。

鑑賞の段階では、作品を紹介し合いながら、よさや美しさを見付けたり、表し方や模様の組み合わせ方の感じの違いについて思ったことを交流したりできるようにする。

### 3 学習目標

- (1) 墨を使ってのいろいろな表し方に関心をもとうとしている。《関心・意欲・態度》
- (2) 画面の組み立て方や配色を、描きながら考えたり、試みたりすることができる。《発想・構想の能力》
- (3) 墨や筆の扱い方を工夫し、その効果を確かめながら描くことができる。 《創造的な技能》
- (4) 友達の作品を見て、そのよさや美しさを感じ取ることができる。 《鑑賞の能力》

### 4 単元（題材）の評価規準

関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
墨を使ってのいろいろな表し方を楽しもうとしている。	画面の組み立て方や配色を、描きながら考えたり、試みたりしている。	墨や筆の扱い方を工夫し、その効果を確かめながら描いている。	友だちの作品を見て、そのよさや美しさを感じ取っている。

### 5 準備

- (1) 教師 ・墨・和紙・小皿・新聞紙・はけ・ブラシ・段ボール・わら・たこ糸・学習カード など
- (2) 児童 ・毛筆セット・筆代わりになる身近材料・筆記用具

### 6 指導計画（3時間扱い）

時間	学習活動	学習活動における評価規準			
		造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
第1時 45分	墨の濃淡や用具の扱い方などを考えながら、いろいろな方法を試す。	墨を使って描く楽しさを味わいながら、いろいろな方法を試そうとしている。		墨の濃淡や用具の使い方を考え、表し方を工夫している。	
第2時 本時 45分	いろいろな表し方を組み合わせて、模様をつくる。	墨を使って自分の思いを絵に表そうとしている。	模様の美しさを考え、組み合わせを試している。	墨の濃淡や用具の使い方を考え、表し方を工夫している。	自分のイメージをもち、作品の特徴をとらえている。
第3時 45分	お互いの作品を鑑賞し合う。	作品のよさや美しさを見付けようとしている。			表現の意図や特徴などをとらえている。

### 7 本時の指導（2／3時間）

- (1) 目標 墨の濃淡や模様の組み合わせなどをいろいろ試しながら、表し方を工夫することができる。

#### (2) 評価規準

評価の観点（評価方法）	概ね満足できる状況（B）	支援の必要な児童への手立て
造形への関心・意欲・態度 【観察・作品】	墨を使って自分の思いを絵に表そうとしている。	教師の実演や友達の表現を見せることで、墨で模様をかくことの面白さに気付かせる。
発想や構想の能力 【観察・作品】	模様の美しさを考え、組み合わせを試している。	前時に描いたものや友達の意見などをもとに、自分なりの思いをもたせる。
創造的な技能【観察・作品】	墨の濃淡や用具の使い方を考え、表し方を工夫している。	墨の濃淡や用具の使い方によるいろいろな表し方を再確認させる。
鑑賞の能力【観察・カード】	自分のイメージをもち、作品の特徴をとらえている。	作品から気付いたことを話させ、どんな感じか、何に見えるか連想させる。

(3) 展開

過程	学習活動	教師の働きかけ
<p>導入</p> <p>3分</p>	<p>1 本時の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の活動をふり返り、本時の課題意識をもつ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>いろいろな道具や技法を組み合わせせてお気に入りの模様をつくろう。</p> </div>	<p>「今日は前回試せなかった模様や新しい模様を試してみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時に試せなかった模様づくりへの意欲を高める。</li> </ul>
<p>展開</p> <p>37分</p> <p>まとめ</p> <p>5分</p>	<p>2 模様作りをする。</p> <p>○いろいろな方法で試す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習で試せなかった方法や新しい方法で模様を描く。</li> <li>自分の気に入った表現の仕方を見つける。</li> </ul> <p>○一つの作品に仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気に入った模様を組み合わせせて作品を作る。</li> </ul> <p>3 お互いの作品を交流し合う。</p> <p>○自分の作品を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出来上がった自分の作品を見て、タイトルをつけ、その理由をカードに書く。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達作品を見て、気付いたことやどんなタイトルが合うか話し合う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの後、自分が付けたタイトルを友達に説明する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(4～5人グループでの交流)</p> <p>4 活動をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふり返りカードに記入する。</li> <li>学習感想を発表する。</li> </ul>	<p>「いろいろな技法を試みながら、自分の気に入った模様を見付けよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はがきサイズの和紙に自分の考えた模様を描かせる。</li> <li>用紙を十分に用意しておく。</li> <li>子どもの活動に合わせて、他のサイズ用の紙も準備しておく。</li> </ul> <p>「自分の気に入った模様を組み合わせせて作品をつくろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B5サイズの和紙を用意し、組み合わせた模様を描かせる。</li> </ul> <p>「自分の作品から何が見えてきたかな。タイトルを書いてみよう。何を根拠にしたのかも書いてみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出来上がった自分の作品に向き合い、タイトルやその根拠を書く時間をとる。(2分程度)</li> </ul> <p>「友だちの作品から気付いたことは何ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達作品から気付いたことを出し合い、自分だったらどんなタイトルを付けるのか伝え合う。</li> <li>一つの作品につき、2分程度の時間で交流を進めさせる。</li> </ul> <p>「今日の活動についてふり返りましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題についてのふり返りと作品の交流をして感じたことを書かせる。</li> <li>自分の作品や友達作品から気付いたよさなどについて発表させる。</li> </ul>

8 板書計画

墨のうた

筆

はけ

かすれ

はね

にじみ

墨の濃淡

いろいろな道具や技法を組み合わせお気に入りの模様をつくろう。

模様①

模様②

模様③

9 座席表

墨

和紙

1

2

3

4

5

6

